



2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月16日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL https://www.balnibarbi.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 岡本 弘嗣 TEL 06-4390-6544
 四半期報告書提出予定日 2021年3月17日 配当支払開始予定日 2021年4月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	4,430	△27.7	△411	—	△277	—	825	468.9
2020年7月期第2四半期	6,127	10.0	248	27.6	262	36.2	145	42.9

(注) 包括利益 2021年7月期第2四半期 826百万円 (466.2%) 2020年7月期第2四半期 145百万円 (44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	96.03	93.54
2020年7月期第2四半期	16.87	16.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第2四半期	8,744	2,710	29.6	303.17
2020年7月期	9,136	1,992	20.5	217.76

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 2,592百万円 2020年7月期 1,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2021年7月期	—	2.50	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	8.1	0	—	0	—	1,000	—	116.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期2Q	8,717,080株	2020年7月期	8,703,480株
② 期末自己株式数	2021年7月期2Q	166,738株	2020年7月期	90,538株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期2Q	8,599,373株	2020年7月期2Q	8,602,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手について）

当社は2021年3月30日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の四半期決算補足説明資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済活動が著しく制約を受ける状況等により経済情勢は急激に悪化いたしました。また、緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開に伴って徐々に回復傾向にあったものの、2021年1月に再び緊急事態宣言が発出されたことなどにより、未だ感染終息の見通しは立っておらず今後の経済情勢に影響を及ぼすことが懸念され依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた休業要請や外出の自粛、営業時間の短縮要請などの影響により、外食を控える傾向による大幅な来客数の落ち込みなど引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループでは、引き続きエリア活性化プロジェクトへの参画など地域創生ネットワークの形成を推進するとともに、店舗展開及び多様な新規出店プロジェクトの企画開発を行う一方で、運営体制の適正化及び経営マネジメント層の育成を積極的に行うための人材組織戦略への取り組みを行っております。また、店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを保った安心安全なテラスの活用や、2020年9月に中食需要の高まりから店舗外商品の販売強化を目的にECサイト「CANDLE TABLE」をオープン、2020年12月に新型コロナウイルス感染症の拡大などによる事業運営に対する長期的な影響の可能性を鑑み、運転資金として機動的かつ安定的な資金調達手段を確保する目的でシンジケートローン契約(組金額額:1,850,000千円)を締結し、顧客満足度の向上と収益性及び財政状態を安定させる取り組みを実施しております。

当第2四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、バッドロケーション戦略において1店舗をオープン、不動産デベロッパー戦略において1店舗をオープン、2店舗をクローズ、大学・その他戦略において期間限定で1店舗をオープン、1店舗を売却、1店舗をクローズし、当第2四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は90店舗となっております。

出店戦略別及び事業別の業績は以下のとおりであります。

① バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し、店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2020年9月には茨城県土浦市において、JR土浦駅直結の「プレイアトレ土浦」において「タルトスピーカー」をオープンしております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区24店舗、関西地区8店舗、その他地域2店舗の計34店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,461,495千円(前年同四半期比24.0%減)となりました。

② 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社の個性を活かした店舗開発を推進しております。2020年8月には東京都渋谷区の「MIYASHITA PARK」において「ニューライト」をオープン、2020年11月には東京都渋谷区の「グッドモーニングカフェ&グリル キュウリ」をクローズ、2021年1月には東京都千代田区の「スキュー」をクローズしております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区22店舗、関西地区13店舗、その他地域2店舗の計37店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,966,039千円(前年同四半期比29.5%減)となりました。

③ 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地域創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区10店舗、その他地域1店舗の計11店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は681,596千円(前年同四半期比27.3%減)となりました。

④ 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。2020年8月には京都市左京区の「南禅寺参道 菊水」を譲渡、2020年9月には“食卓に彩りを添える特別な一品”をコンセプトに、食材選びから調理工程までこだわったシェフの自慢の一皿をお届けする通販サイト「CANDLE TABLE」をオープン、2020年12月には新潟県魚沼郡において期間限定店舗である「ぶなキッチン」をオープン、2021年1月には京都市東山区の「スロージェット コーヒー 高台寺」をクローズしております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区4店舗、その他地域3店舗の計8店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は229,138千円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第2四半期連結累計期間における売上高は91,939千円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

現金及び預金の増加908,995千円、売掛金の減少119,900千円、販売用不動産の増加540,634千円、建物及び構築物の減少481,761千円、土地の減少654,299千円、建設仮勘定の減少217,117千円及び繰延税金資産の減少110,262千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ391,910千円減少し8,744,357千円となりました。

(負債)

買掛金の減少142,199千円、未払法人税等の増加345,872千円、未払消費税等の増加114,261千円、前受金の減少253,028千円、長期借入金の減少1,007,706千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ1,109,073千円減少し6,034,297千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、717,163千円増加し、2,710,060千円となりました。これは主に利益剰余金の増加782,767千円及び自己株式の取得79,876千円の減少等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ908,995千円増加し、2,685,352千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は34,126千円（前年同期は423,239千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,259,262千円、減価償却費279,096千円、固定資産売却益1,655,282千円、法人税等の還付額121,020千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は2,098,780千円（前年同期は437,680千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入2,266,538千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,224,048千円（前年同期は32,744千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,072,533千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年9月14日の「2020年7月期 決算短信」で公表いたしました2021年7月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,776,356	2,685,352
売掛金	321,405	201,505
商品及び製品	143,589	128,328
原材料及び貯蔵品	25,092	27,366
販売用不動産	—	540,634
未収還付法人税等	98,451	—
その他	174,254	193,201
流動資産合計	2,539,149	3,776,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,607,350	2,125,589
機械装置及び運搬具(純額)	15,803	16,123
工具、器具及び備品(純額)	417,577	413,227
土地	1,494,675	840,376
リース資産(純額)	241,735	203,767
建設仮勘定	238,294	21,177
有形固定資産合計	5,015,437	3,620,261
無形固定資産		
のれん	63,651	—
借地権	380,963	372,395
その他	18,227	14,941
無形固定資産合計	462,842	387,337
投資その他の資産		
投資有価証券	2,550	2,550
差入保証金	621,096	600,347
繰延税金資産	419,002	308,740
その他	76,189	48,732
投資その他の資産合計	1,118,838	960,370
固定資産合計	6,597,118	4,967,969
資産合計	9,136,267	8,744,357

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,788	87,589
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	601,062	568,236
リース債務	115,345	98,905
未払金	474,886	438,259
未払法人税等	4,479	350,351
未払消費税等	64,229	178,490
前受金	261,341	8,313
賞与引当金	2,960	2,960
その他	137,780	103,901
流動負債合計	2,691,875	2,637,008
固定負債		
長期借入金	3,909,736	2,902,030
リース債務	181,192	143,800
資産除去債務	286,399	287,586
繰延税金負債	552	459
その他	73,614	63,411
固定負債合計	4,451,495	3,397,288
負債合計	7,143,370	6,034,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,770	424,640
資本剰余金	761,033	772,903
利益剰余金	784,378	1,567,145
自己株式	△92,644	△172,520
株主資本合計	1,875,537	2,592,169
非支配株主持分	117,358	117,891
純資産合計	1,992,896	2,710,060
負債純資産合計	9,136,267	8,744,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	6,127,020	4,430,209
売上原価	1,622,860	1,222,934
売上総利益	4,504,160	3,207,274
販売費及び一般管理費	4,255,362	3,619,131
営業利益又は営業損失(△)	248,797	△411,856
営業外収益		
受取利息	23	165
受取保険金	3,231	2,788
消費税差額	23,140	11,496
助成金収入	—	149,999
違約金収入	2,375	5,359
その他	1,812	3,431
営業外収益合計	30,583	173,241
営業外費用		
支払利息	8,514	9,349
シンジケートローン手数料	6,449	24,399
その他	2,128	5,265
営業外費用合計	17,092	39,014
経常利益又は経常損失(△)	262,288	△277,629
特別利益		
固定資産売却益	—	1,655,282
保険解約益	—	4,076
特別利益合計	—	1,659,358
特別損失		
固定資産除却損	152	0
店舗閉鎖損失	7,426	39,987
関係会社株式売却損	—	82,479
特別損失合計	7,579	122,466
税金等調整前四半期純利益	254,709	1,259,262
法人税、住民税及び事業税	128,898	322,729
法人税等調整額	△20,136	110,169
法人税等合計	108,762	432,898
四半期純利益	145,946	826,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	794	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,152	825,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	145,946	826,364
四半期包括利益	145,946	826,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,152	825,831
非支配株主に係る四半期包括利益	794	532

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254,709	1,259,262
減価償却費	335,847	279,096
店舗閉鎖損失	7,426	39,987
のれん償却額	4,389	731
支払利息	8,514	9,349
関係会社株式売却損益(△は益)	—	82,479
固定資産売却益	—	△1,655,282
売上債権の増減額(△は増加)	△19,187	106,211
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,943	9,937
販売用不動産の増減額(△は増加)	—	△150,554
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,930	△137,133
未払金の増減額(△は減少)	△39,975	△25,080
前払費用の増減額(△は増加)	11,701	△8,256
未払費用の増減額(△は減少)	△1,495	△15,433
前受収益の増減額(△は減少)	15,189	11,864
預り金の増減額(△は減少)	△7,175	△5,541
未収消費税等の増減額(△は増加)	24,414	13,847
未払消費税等の増減額(△は減少)	38,723	115,308
助成金収入	—	△149,999
その他	15,259	△2,194
小計	560,467	△221,399
利息及び配当金の受取額	23	165
利息の支払額	△7,515	△8,380
助成金の受取額	—	149,999
法人税等の還付額	—	121,020
法人税等の支払額	△129,736	△7,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,239	34,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△416,626	△155,905
無形固定資産の取得による支出	△2,654	—
有形固定資産の売却による収入	—	2,266,538
資産除去債務の履行による支出	—	△31,552
差入保証金の回収による収入	4,568	19,762
差入保証金の差入による支出	△22,868	△1,699
その他	△100	1,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437,680	2,098,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△77,075	△61,812
割賦債務の返済による支出	△1,148	△2,502
長期借入れによる収入	370,000	32,000
長期借入金の返済による支出	△288,553	△1,072,533
株式の発行による収入	7,040	3,740
配当金の支払額	△42,935	△43,064
自己株式の取得による支出	△71	△79,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,744	△1,224,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	426	137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46,759	908,995
現金及び現金同等物の期首残高	1,624,117	1,776,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,577,358	2,685,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式76,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が79,876千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が172,520千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食店運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。